

「水辺の小さな自然再生」事例紹介

記入年月 2018年11月

都道府県名	岡山県		河川名	吉野川						
事例タイトル	魚もいない川なんて退屈すぎるぜ！クラウドファンディングによる挑戦									
写真										
水系名/河川名	吉井川水系/吉野川		場所	岡山県英田郡西粟倉村						
位置情報 (緯度経度)	35.181699, 134.334717		活動開始年	2018年						
活動概要 (経緯・目的等)	<p>・ふるさと納税型クラウドファンディングを活用しプロジェクトを実施した。西粟倉村の挑戦と、それを応援する村外の関係人口をつなぐクラウドファンディングでありながら、ふるさと納税を活用する事で負担が少なく応援して頂けるようにした。(税控除により、寄付者の負担は2000円のみ)。</p> <p>・西粟倉村は吉井川水系の源流部に位置し、下水道も完備しているため、川の水はとても澄んでいる。しかしながら、近年、魚の数が激減したとの声が多く村民からあがっている。魚が減った理由としては、融雪剤、人工林化など様々な理由が考えられ、原因の特定と対策の推進には長い年月がかかると考えられる。今回は取り組みの第一弾として、まずは川に触れ合う機会を増やそうと考え、道の駅の脇に親水空間を再生した。また、石の配置変えにより、出水時に魚の逃げ場となる流れの緩やかな場をつくった。</p>									
再生の手法	簡易魚道		簡易水制 (巨石・ブロック)	○	バープ工 (上向き水制)		石倉かご・竹蛇籠		植生ロール・ポット	
	魚道改良		たまり・わんど造成	○	河床攪乱		その他 (記述)	親水空間の再生		
実施体制 (活動の担い手)	市民・市民団体	○	河川管理者 (国)		河川管理者 (都道府県)		河川管理者 (市町村)		河川管理者以外の地元自治体	○
	大学・研究機関	○	学校 (小中高)		企業	○	その他 (記述)			
工夫した点	<p>・川に繁茂していた葦を刈り、堆積していた石を川岸に寄せる事で、昔存在した川遊び場を道の駅の脇に再生した。</p> <p>・既存の巨石を活かし多段式の低落差を多数設けて、流れが緩やかな浅瀬を確保した。前後区間は急こう配で流路幅もないため浅瀬がハビタットとして欠落していた</p> <p>・寄り洲部分の上流端に大きな石を配置して洲が維持しやすく、トロ場・植生帯が確保されるようにした</p> <p>・造り込みすぎず、洪水時に攪乱されて自然の景観として馴染むようにした</p>									
今後の課題	<p>・2018年7月の西日本豪雨の影響により、川の再生イベントの実行が当初予定より2か月遅れの10月になってしまった。来年の夏に親水空間として活用して頂きながら、課題を抽出したい。また、より上流の渓流部にて、広葉樹による河畔林の再生に取り組み、川の生物量の増加に取り組みたい。</p>									
効果 (直接的な効果・間接的な効果)	<p>・近所の方々や来村が親水空間を使っている。(記入時には、川遊びの時期が過ぎているため、利用者はまだ少数)。</p> <p>・浅瀬部分、トロ場部分が維持されている。(魚は未確認)</p> <p>・地域で川や魚に関する事が話題に出る事が多くなった</p>									
関連URL等	https://www.makuake.com/project/nishiwakura/									